



奈良教育大学 (奈良県)



・日本語・日本文化実地検証プログラム---やまと---

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

本学は1888年に奈良県立尋常師範学校として創設されて以来、2018年で130年の歴史を有している。この間女子師範学校、青年師範学校と合併、名実ともに教員養成機関として面目を一新、1949年5月に奈良学芸大学、1966年に奈良教育大学と改称し、現在に至っている。

本学は高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としている。

また、教員実践の経験をふまえた教育理論の見直し、再編成の場として教職大学院、大学院教育学研究科修士課程を設置している。

2) 教員・学生数等：

教員数 95人 学生数 1,294人

② 国際交流の実績

留学生教育に関しては、小規模大学としては充実しており、教員養成大学の特性（多岐に渡る専門領域の教育が実施されている）を生かし、所在地である古都・奈良の特色も生かした教育で高く評価されている。現在7か国12大学と国際交流協定を結んでおり、12か国から61名の留学生が在籍している。全学に占める留学生の割合は約5%である。

とりわけ日本語・日本文化研修留学生（以下、「日研生」という。）の受け入れに関しては実績があり、1987年に初めて1名を受け入れて以来、現在までに約40か国から約180名の受け入れ実績がある。日研生にとって、本学は日本の伝統文化と現代文化を同時に実地検証できる絶好の場であると言える。（④地域の特色参照）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2018年：留学生数61人、日研生7人

2017年：留学生数56人、日研生3人

2016年：留学生数47人、日研生4人

④ 地域の特色

本学が位置する奈良市は、人口約36万人で大阪、京都にそれぞれ電車で1時間以内で行くことができる利便性があり、かつ8世紀には都であったことから、古都としての伝統が色濃く残る、いわば過去と現在が交差する希有な都市である。

また、2010年に平城遷都1300年を迎えた奈良は、益々国際交流に力を入れており、留学生に対しては地域からの期待も大きく、またよくサポートを受けている。

■コースの概要

① 研修目的

以下の（a）（b）両方を対象とする。

（a）日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

（b）日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

本学は世界遺産「古都奈良の文化財」に登録された社寺まで徒歩圏であるばかりでなく、本学の構内で8世紀の寺の遺構が発掘されるなど、他にはない特色を備えている大学である。このような立地条件で提供するプログラム「やまと」の特色は以下のとおり。

- 1) 日本文化の原点とも言える地にあるという利点を生かし、日研生ができる限り日本文化を実地で検証できる研修内容である。

- 2) 大阪・京都まで1時間以内で行けるという利便性を生かし、伝統文化が現代文化とどのように共存しているか、またその背景にある日本人の価値観とは何かが理解できるように、講義と実地研修の両面で指導する。

- 3) 日本語、および日本文化関連の授業、実地検証などにおいて、日研生独自の年間カリキュラムを提供する。

- 4) 教育大学であることの特色を生かし、附属校等の授業に参加したり、子ども達と交流することで、日本の教育の実状も体験できる。

- 5) 留学期間後半では修了レポートの作成に伴い、日研生各自の興味の対象に沿う指導を行う。

③ 受入定員

21名（大使館推薦15名、大学推薦6名）

④ 受講希望者の資格、条件等

規則を守り、真摯に日本語・日本文化を学習する意欲のある者

日本語能力試験N3以上の日本語能力が望ましい。また、少なくとも2年以上の日本語学習歴、専攻は日本語学、日本文学、日本語教育、日本学、比較文化学であることが望ましい。

⑤ 達成目標

- 1) 日本語・日本文化をテーマとした研究・研修の成果に関する日本語の論文・レポートを作成できる
- 2) 大学での研究や社会生活に必要な日本語運用力を身につけること。 ※日研生の多くはJLPT-N1またはN2レベルに到達している。

⑥ 研修期間

2019年10月1日 ~ 2020年8月16日

(修了認定は9月中旬~下旬となるため、修了式は実施していない。)

⑦ 研修科目の概要・特色

コース形態 : 日研生用コース。(ただし、下のとおりの一部の日本語授業は他の学生と合同。)

日本語教育に関して、既存の留学生用授業を組み合わせることによって、日研生の日本語力に応じたレベルの日本語授業が受けられるようにする。
日本語・日本文化関連の授業では、言語・文化に関する深い知識を座学で学ぶと同時に、プロジェクトワークや学校交流等を取り入れた実践的な日本語使用および文化理解の機会を提供する。

1) 必修科目(★)と選択科目: 以下のとおり

	授業科目	時間数		
		秋学期	春学期	計
日本語	(★)日本語 I 上級 (論文執筆技術)	30	30	60
	(★)日本語 II 上級 (アカデミック読解)	30	30	60
	(★)日本語コミュニケーション (体験型日本語学習)	30		30
	(★)日本語演習 II (中上級アカデミック読解)	30		30
	(★)日本語演習 II (中上級小論文執筆技術)	30		30
	(★)日本語演習 I (中上級文学読解)		30	30
	(★)日本語演習 I (中上級小論文執筆)		30	30
	(★)日本語文献講読 (日本語)		30	30
・ (★)日本語能力に応じて指導教員が指定した科目を履修 ・ 上記日本語科目は一般留学生との合同授業				

日本文化	★※日本文化史	30		30
	★※比較文化論		30	30
	国際文化論		30	30
	比較言語文化論 I		30	30
	比較言語文化論 II	30		30
	日本人の宗教観	30		30

	日本語文献講読 (文化)		30	30
	★※現代日本論		30	30
その他	※日本語教育論	30		30
	※日本語教授法特講		30	30
	★修了レポート指導	-	-	-
日本文化科目、その他の科目のうち、 ★は必修科目、※は日本人学生の受講も可				

上記の表に記載された留学生用授業が開講されていない時間は、その他の日本人向け授業を受けることができます。ただし指導教員および担当教員の許可が必要です。

日本人向け授業例

日本文学概説 I
日本文学概説 II
アジアの中の日本美術史
日本史概説 I
日本史概説 II
日本語学概説 I
日本語学概説 II など

2) 見学、地域交流等の参加型科目

11月、1月 地域の小中学校での交流や授業体験(日本人学生も参加)

11月 学習旅行(滋賀県近江八幡市) 4月 学習旅行(三重県志志島)

日本文化の体験

1月 歌舞伎鑑賞 3月 大相撲観戦、他

・大学主催の国際交流イベント(月1回程度)のほか、地域団体主催の文化体験プログラムにも参加可能。

3) 修了研究の内容

指導教員制度を導入し、学習相談に応じている。また、受入れ留学生向け授業のいくつかにおいて、留学中数回、授業成果報告の場を設けている。あわせて、コース修了時に修了レポートを作成することを修了要件の一つとしている。

例) ジャパニーズホスピタリティ「おもてなし」
日本人の基督教の受容 など

4) 日本人学生との共修の機会、5) その他の講義、選択科目等
⑦1)、2)を参照のこと。

⑧ 年間行事・年間スケジュール

(2018年度実施(予定含む))

9月中旬～下旬: 渡日、オリエンテーション

10月: 秋季留学生懇談会(歓迎会)

11月: 学習旅行(滋賀県近江八幡市)
大学祭

3月: 大相撲見学

4月: 春季留学生懇談会(歓迎会)
学習旅行(三重県答志島)

8月下旬: 帰国

⑨ 指導体制

学業面では以下の教員が個別指導を行う。

()内は専門分野

* 頓宮 勝(インド学、比較文化) tonguu@nara-edu.ac.jp

* 和泉元 千春(日本語教育学) izumimotoc@nara-edu.ac.jp



⑩ コースの修了要件、修了証書の発行

以下の要件を満たした場合、国際交流推進室がコース修了を認定し、修了証書を発行する。

- ・ 秋学期、春学期で指定された科目を含む合計360時間以上を履修し合格すること
- ・ コースで定められた実地研修に参加すること
- ・ 本コースの成果をまとめたレポートを日本語で作成すること

・ 単位の認定及び単位互換
コースにおいて履修し合格した授業については単位を認定し、大学推薦の学生にとっては、取得単位は協定に基づき互換される。

■ 宿 舎

日研生は、特に事情がない限り、大学の学生宿舎に入居する。

寮費 約17,200円/月 (但し、居室光熱費別途)
Wi-fi設備あり。

◇その他

来日後に、全員、国民健康保険(月額約2,500円)、外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(略称:インバウンド付帯学総)(月額約3,000円)に加入する必要があります。

また、胸部レントゲン検査を受けてもらいます。



附属幼稚園児を対象とした絵本の読み聞かせ



附属小学校での交流授業

■ 修了生へのフォローアップ

① 指導体制

帰国後の学生が研究留学生として再日を希望する場合には、比較文化及び日本語教育を専門とする留学生担当教員が主として e-mail により助言し、専門領域に応じて、本学で受け入れたり、他大学を紹介している。

② キャリアパス(一例)

日本やその他の国の日本語教育機関において教職、研究職に従事。日本語能力、日本理解を必要とする日本国内外の企業への就職。



学習旅行(答志島)

■ 問合せ先

<担当部署>

奈良教育大学学生支援課国際交流・留学生担当

住所: 〒630-8528
奈良県奈良市高畑町

TEL: +81-742-27-9148 (直通)

FAX: +81-742-27-9146

Email: ryugaku@nara-edu.ac.jp

<ウェブサイト>

奈良教育大学国際交流留学センター:

<http://cies.nara-edu.ac.jp/>

奈良教育大学:

<http://www.nara-edu.ac.jp>



NARA UNIVERSITY OF EDUCATION (Nara)



Program for On-the-spot Experience of Japanese Language and Culture --- YAMATO ---

■ Introduction of our University

① Outline and Characteristics of the university

1) History and Characteristics

The history of our university started with the foundation of Ordinary Normal School in 1888 and celebrated the 130th anniversary in November 2018. The school itself has been developing into Nara University of Education with the historical background of being in association with Women's Normal School and Youth Normal School to assume a new aspect as teacher training school in reality and in name, or changing its name into University of Liberal Arts in May 1949 and the present title in 1966.

The university aims at developing cultivated human resources of high intelligence, especially competent educationists, as well as contributing to the advancement of the characteristic culture in Nara.

The Graduate School (Master's Course) and School of Professional Development in Education are affiliated as the place for higher level of research in education and the practical place for reviewing and reorganizing educational theory after having experience of teaching in schools.

2) Number of Teaching Staffs and Students:

Number of Teaching Staffs : 95

Number of Students: 1,294

② International Exchange

Though our university is small in size, educational circumstances and facilities satisfy foreign students' request. Especially characteristics as teacher's training college, that is, the variety of professors' research fields in addition to the education based on the university's location as the ancient capital of Japan has ever been highly evaluated. Our university has ties with 12 partner universities in 7 countries through international exchange agreements and 61 foreign students from 12 countries are studying at the university now and its number accounts for 5 percent of the total number of our students.

In particular, we are experienced in accepting Japanese Studies Students (hereafter referred to as "Nikkensei"), and we have ever offered the special program, reviewed and improved every year, to around 180 students from about 40 countries in total since one student started to study under the program in 1987. The university is an excellent location for the practical study of Japanese traditional culture as well as modern culture.

③ The number of international students and Nikkensei for the past three years

2018 : International students 61 Nikkensei 7

2017 : International students 56 Nikkensei 3

2016 : International students 47 Nikkensei 4

④ Characteristics of Nara Prefecture

Nara city with a population of 360,000 is conveniently located within 1 hour distance by train from both Osaka and Kyoto. Moreover, the city was the capital of Japan for about 80 years in 8th century, and the tradition as the old city still remains strong. The place, as it were, is one of rare cities where the past atmosphere intersects with modern environment.

Nara, which celebrated the 1300 anniversary of the transfer of national capital in 2010, focuses on the international exchanges, and expects to welcome and support students from abroad.

■ Outline of the Course

① Purpose of Study We accept both (a) and (b) below.

(a) A course intended mainly to study about Japan and Japanese culture with supplementary study to improve Japanese language proficiency

(b) A course intended mainly to improve Japanese language proficiency with supplementary study about Japan and Japanese culture

② The features of the Course

Our university is not only located in the area accessible to those famous temples and shrines on foot but also has excavated ruins of a temple constructed in the 8th century on campus.

- 1) Nikkensei students can study Japanese language and culture in such a place regarded as the original place of Japanese culture by attending classes offered in this program.
- 2) Students are guided and instructed on and off campus to understand the coexistence of traditional and modern culture in addition to Japanese concept of values behind its history and culture within easy access of Osaka and Kyoto.
- 3) We offer the unique annual curriculum for Nikkensei.
- 4) Students may get to know actualities of education in Japan with the experience of participating the classes as invited speakers and interacting with pupils in our attached schools etc, which is a characteristic of our university as a college of education.
- 5) When students draw up final composition to complete this program during the latter part of the course, they are guided under the appropriate instruction for their respective interests.

③ Number of students to be accepted

Total is 21 students

(6 students who recommended by University
15 students who recommended by Embassy)

④ Requirements for Completion of the Course and its Certificates

The applicants for this Course are required to be a person who are motivated to learn Japanese culture and customs sincerely and have the ability in Japanese language equivalent to or above the level N3 of the Japanese Language Proficiency Test, and also have at least two years' experience in studying Japanese. The desirable major fields of study are Japanese Linguistics, Japanese Literature, Japanese Education, Japanology (Study on Japan in general) and Comparative Culture.

⑤ Aim of the Course

The program goals are as follows:

- 1) To be able to write a report on Japanese language and culture based on the result achieved during the program.
 - 2) To acquire the Japanese language proficiency and communicative competence necessary for academic research activities and social life.
- ※ Most students reach a degree of proficiency in Japanese equivalent to N1 or N2 of JLPT at the time of completion of the program.

⑥ Period of the Course

October 1 in 2019~August 16 in 2020 (Graduation ceremony will not be held because approval of completion will be in September, 2020.)

⑦ Type of the Course

- Students can enrich their understanding of Japanese language and culture in respective classes. Also the opportunity of practical Japanese usages introduced in the project work, and cultural understanding is offered.
- As for Japanese language, students can attend those classes corresponding to their proficiency from among various Japanese-related classes offered to other types of foreign students studying at our university.

1) Compulsory Subjects(★) and Elective Subjects are as below.

	Subjects	Hours		
		Fall	Spring	Total
Japanese Language	(★)Japanese I (Academic writing)	30	30	60
	(★)Japanese II (Academic reading & writing)	30	30	60
	(★)Practical Japanese Communication (Action-oriented Japanese language learning)	30		30
	(★)Seminar of Japanese Language II (Academic reading, Pre-advanced level)	30		30
	(★)Seminar of Japanese Language II (Academic writing, Pre advanced level)	30		30
	(★)Seminar of Japanese Language I (Reading of literature, Pre-advanced level)		30	30
	(★)Seminar of Japanese Language I (Academic writing, Pre advanced level)		30	30
	(★)Academic Reading Japanese		30	30
	•(★)Compulsory Japanese subjects corresponding to one's Japanese proficiency are specified by the educator. •All Japanese classes are open to other types of international students.			
Japanese Culture	★※History of Japanese Culture	30		30
	★※Comparative Culture		30	30
	Intercultural Understanding		30	30
	Comparison of Cultural Linguistics I		30	30
	Comparison of Cultural Linguistics II	30		30
	Japanese view on Religion	30		30
	Reading of Japanese Theses (Culture)		30	30
	★※A view of Modern Japanese		30	30
	Others	※Introduction to Teaching Japanese	30	
	※Methods of Teaching Japanese as a Second Language		30	30
	★Report Writing	—	—	—
★Compulsory class, ※Class open to Japanese students				

The students can attend the classes for Japanese students only when they do not have classes for Nikkensei, under the permission of a supervisor and a instructor.

- | | | |
|-------------------------------------|--|---|
| - Outline of Japanese Literature I | - History of Japanese Art in Asian Context | - General History of Japan II |
| - Outline of Japanese Literature II | - General History of Japan I | - Outline of Japanese Linguistics I (Spoken Expressions Included) |
| | | - Outline of Japanese Linguistics II, etc. |

2) Practical Training, Participatory subjects

November : Field Study Trip to Oumihachiman Ctiy, University Festival

November & January : School visit (with Japanese students)

March : Appreciation of Grand Sumo Tournament in Osaka

January : Kabuki watching

April : Field Study trip to Toushi Island, etc.

*You can also join many events planned by the university or the community organizations.

3) Contents of completion research:

Consultation with academic teacher about your research is available. There are some presentation session during classes. Plus, submitting a research paper or report in Japanese based on the result achieved during this program is one of the requirements for Completion of the Course and its Certificates.

Theme of the completion research

e.g.) Japanese hospitality, Acceptance of Christianity in Japan, etc.

⑧ Program Events (in 2018(including plans))

Middle or late in September:

Arrival in Japan and orientation session

October : International Student Party (Welcome party)

April : International Student Party (Welcome party)

Late in August :Coming back to your home country

⑨ Leadership in Instruction

* TONGUU Masaru

(Indology, Comparative Culture) tonguu@nara-edu.ac.jp

* IZUMIMOTO Chiharu (Teaching Japanese as a Foreign Language) izumimotoc@nara-edu.ac.jp

⑩ Requirements for Completion of the Course and its Certificates

Those students who meet the following requirements are given the certificate of this course with approval of Promotion Office of International Relations.

To complete the prescribed 360 credit hours a year.

To participate in compulsory study excursions.

To submit a research paper or report in Japanese based on the result achieved during this program.



•Acquirement of credit and its transfer system

Students can acquire credits of those classes which they attended and passed , and credits acquired by students of our partner universities are transferable.

◇Dormitory

Nikkensei can settle in our student residences unless they have special reason.

The room rent per one month is approximately 17,200 yen. (The electricity expense in your private room is not included in a room rent.)

There is Wi-Fi inside the Dormitory.

◇ Others

Nikkensei have to buy National Health Insurance (about 2,500yen/m) and Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with PAS For International Students (about 3,000yen/y) in Japan.

Also Nikkensei have to take a chest X-ray in Japan, too.



Cultural Events for kindergarteners of the university attached kindergarten



Cultural Exchange program at attached schools

◇Follow-up for graduates

①Support

Two instructors in charge of foreign students' education advise students about their return to Japan as research students mainly through e-mail communication. Some students came back to us, or some students were introduced to other suitable institutions in accordance with their majors.

②Track

Professional occupations at educational departments of domestic and international institutions. Employment opportunities at miscellaneous corporations or companies in Japan or students' countries which require Japanese language proficiency.



Field Study Trip(in Toshi Island)

◇Contact Information

Contact: Nara University of Education, Student Affairs Section

Address: Takabatake-cho, Nara 630-8528

TEL +81-742-27-9148 (direct line)

FAX +81-742-27-9146

E-mail ryugaku@nara-edu.ac.jp

WEB(Nara University of Education, Center for Intercultural Exchange and Studies):

<http://cies.nara-edu.ac.jp/>

WEB(Nara University of Education):

<http://www.nara-edu.ac.jp>